

日刊 不動産経済通信

2017年（平成29年）7月7日

◎REB1000社の会が50回記念講演

REB1000社の会（理事長 清水修司・SD建築企画研究所社長）は5日、東京・渋谷区のSYDホールで「第50回記念講演」を開催した。「不動産ビジネスの商機拡大」を掲げ07年からスタートした同講演会は、50回で延べ1万3600人が参加。第50回は260人が参加した。

当日は東京大学名誉教授で株式会社地震科学探査機構会長の村井俊治氏が「地震は必ず予測できる!!」と題した講演を行い、衛星測位を用いて地殻変動の前兆を検知する「MEGA地震予測」を紹介。地面の沈降の継続が要注意であることなど科学的データを示した。また、ドイツ証券株式調査部シニアアナリストの大谷洋司氏が「歴史の賢人たちの警告 静かなるバブルが崩壊する時」をテーマに講演。オフィスビルの供給が17年から需要を上回ることや、首都圏の相続税対策バブル崩壊の懸念、東京も人口崩壊リスクが顕在化する恐れなどを示し、不動産市況は「クラッシュはしないが、次の回復が見通しにくい」との見解を述べた。